



親子バレーボール

会場地 : 神河町、福崎町、市川町

競技紹介

親子バレーボールとは、小学生4名、大人（学生を除く）2名による、6人制小学生バレーボール・フリーポジション制競技規則に準じて行なうバレーボールです。

ただし、大人にはルール上の規制があり、アタックなどの攻撃やブロック、また、サーブの打ち方などを制限しており、小学生が競技の中心となれるようなルールになっています。

子どもたちとコミュニケーションを図りながら、1つのボールをつなぐ親子バレーボールが、今後普及することを期待しています。

競技方法



各チーム6名（小学生4名、大人2名）による、変則リーグ戦方式とし、各会場ごとに優勝・準優勝チームを決定します。

ルールは、「6人制小学生バレーボール・フリーポジション制競技規則」に準じて実施しますが、大人のみ特別ルールを採用します。

1セット15点の3セットマッチ（ラリーポイント）で行ない、2セット先取したチームの勝ちとなります。

《大人の特別ルール》

大人はアタック及びブロックをすることができません。片手または両手で相手コートへ返球する際、平行及び鋭角的に返すと反則になりますので、必ず山なりの返球をしなければなりません。

サーブは腰から下で行なう、アンダーハンドサーブでなければなりません。

【用具等】

- ・ 軽量 4 号球を使用
- ・ コートの大きさは 8 m × 1 6 m ・ ネットの高さは 2 m

競技場の概要

【会 場】

神 河 町	神河町体育センター、町立神崎中学校体育館 町立大河内中学校体育館
福 崎 町	県立福崎高等学校体育館、町立福崎西中学校体育館 町立福崎小学校体育館
市 川 町	市川町スポーツセンター体育館、町立市川中学校体育館



競技は、上記の 8 会場で実施します。

各会場 2 コートずつを使用して行い、会場ごとに順位を決定します。

写真は、神河町親子バレーボール大会の様子です。

親子が心を一つにして、ボールをつなぐ姿、共に汗を流してプレーする姿は、とても輝いています。

